

臨床福祉専門学校

言語聴覚療法学科 学校関係者評価 議事録

1. 委員会名 第二回学校関係者評価委員会

日時：平成 25 年 2 月 6 日（木） 15：00～16：00

場所：臨床福祉専門学校 201 教室

出席委員及び所属

福澤 理（NPO 法人 日本補聴器技能者協会副理事長）

新井 英希（一般社団法人 日本補聴器販売店協会常務理事）

赤生 秀一（一般社団法人 日本補聴器工業会理事長）

川端 右子（メドエルジャパン株式会社）

内野 滋雄（臨床福祉専門学校 学校長）

内藤 明（臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科 学校長）

萬崎 保志（臨床福祉専門学校 事務次長）

樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務主任）

小室 加奈子（臨床福祉専門学校 学務課）

（自己評価報告書の評価について）

- ・中身を見ても解らないのでイメージがつかめない。学校側からより明確な仕組みや情報提供が欲しい（福澤委員）
- ・基準 9〔法令等の遵守〕について学校側で学習面だけでない相談窓口を設けているという点について評価できる。（川端委員）
- ・自己評価報告書の公開の目的・意義について疑問、評価自体も内容がわからないので評価できない。（赤生委員）
- ・普段学校業務に携わっていない業界関係者側からすれば、養成施設自体の自己評価について、意見を述べて良いものか悩みどころである。（赤生委員）
- ・自己評価報告書の「今後の改善方策」について
いつ改善していくのか明確でない。書いているだけでは改善できない。
はっきり示す事で、情報公開するという点では好印象を受ける。（福澤委員）

まとめ

「自己評価報告書」の内容を評価してもらうという点について、特定の基準に特化する、例えば（基準 5 学生支援）のように外部の方にも理解しやすい箇所に絞るのもやり方の一つとして検討する。